

再編前後の利用者の傾向

【路線ごとの利用者増減の傾向】

- ①かえで団地循環線は便数に比例して利用者が減少。
- ②日の出栄町循環線は、三笠線が栄町に経路変更したことにより減少。
- ③鉄北循環線は月形線が緑町、西川町を経由しなくなったことにより増加。
- ④南町春日循環線は志文方面の人員が減少。その分、岩見沢長沼線、岩見沢栗山線、岩見沢三川線が増加。
- ⑤幌向線は教育大学方面を経由しなくなったことにより減少。
- ⑥万字線は南が丘系統の増設により増加。
- ⑦月形線は北村線と統廃合したが、緑町、西川町を経由しなくなったことで減少。
- ⑧三笠線は栄町(住宅街)を経由したことにより増加。
- ⑨岩見沢長沼線は志文団地線の廃止により増加。
- ⑩岩見沢栗山線は志文団地線の廃止や、教育大学の系統新設により増加。

【利用者から電話などで寄せられた主なご意見】

- ①運行ルート
 - ・孫別通が運行ルートから外れたことへの意見
 - ・駅北地区から駅南側の市役所等へ直通できなくなったことへの意見
 - ・幌向地区から図書館や高齢者福祉センターへ直通できなくなったことへの意見
 - ・駒園8丁目から教育大までの路線ができたことへの意見
 - ・栄町へのアクセスがよくなったことへの意見
- ②ダイヤの変更
 - ・高校に通うちょうどよい便がなくなったことへの意見
 - ・病院に通うちょうどよい便がなくなったことへの意見